

新商品情報



NEW



つぶ野菜のイタリアン ドレッシングソース200ml
 すりおろし野菜フレンチ ドレッシングソース200ml
 新商品2品を発売いたしました!

& Bull-Dog ドレッシングは、添加物(増粘剤・化学調味料・着色料)を加えず素材の味を生かしたシリーズで、新商品の2品は、外食店の自家製ドレッシングのような具材感とスパイス等をブレンドした本格的な味わいが特徴です。「つぶ野菜のイタリアン ドレッシングソース200ml」は、きざみ玉ねぎ・赤ピーマンのざくざく食感と、ローズマリー等のあらびきハーブの香り豊かな味わいが特徴で、「すりおろし野菜フレンチ ドレッシングソース200ml」は、すりおろし野菜の具材感と、グリーンペッパーと白ぶどう酢の爽やかな味わいが特徴です。

NEW

ソースが決め手!
 おうちで簡単「広島お好み焼材料セット「お好み村」」を発売!



ご家庭のホットプレートでも作りやすい、最後までおいしく食べることができるちょうどよい小ぶりサイズとなっており、ミックス粉・あげ玉・アオサ・お好みソースがセットで、1袋2枚分(2人前)をお楽しみいただけます。お好みソースは、甘すぎず辛すぎずコクがあって「広島お好み焼と相性がピタリ」と大好評いただいています。

株主優待情報

株主の皆様の日頃のご愛顧に感謝し、100株以上の株主の皆様は株主優待セットを毎年1回送付しています。新商品、人気商品や注目商品などソースの魅力を一層感じていただけるようなソースの詰め合わせギフトとなっております。

○100株以上 (今年度実績例)

1,000円相当商品の詰め合わせ



○800株以上 (今年度実績例)

3,000円相当商品の詰め合わせ



◆会社概要

(2021年9月30日現在)

創設 業 1902年(明治35年)
 設立 1926年(大正15年)
 事業内容 ソースを中心とした調味料類の製造・販売
 資本金 10億44百万円(東証1部、証券コード2804)
 代表者 代表取締役社長執行役員 石垣幸俊
 従業員数 236名(連結333名)
 グループ会社 イカリソース株式会社、株式会社ブルドッグ、サンフーズ株式会社、雷留得客食品(上海)有限公司

◆取締役及び執行役員

(2021年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	石垣 幸俊	取締役(監査等委員)	山本 精一郎
取締役常務執行役員	佐藤 貢一	社外取締役(監査等委員)	石川 博康
社外取締役	鈴木 智子	社外取締役(監査等委員)	永島 恵津子
執行役員	坂本 良雄	執行役員	松田 佳隆
執行役員	武市 雅之	執行役員	柴崎 伯三
執行役員	浅倉 貴	執行役員	佐伯 舞三
執行役員	鈴木 美奈子	執行役員	長 幸三

◆株式の状況

(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 13,954,880株(自己株式529,450株を含む。)
 株主数 9,100名

◆株主メモ

決算期 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会・期末配当 : 毎年3月31日
 中間配当 : 毎年9月30日
 株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
 日本証券代行株式会社
 同事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
 日本証券代行株式会社 本店
 連絡先 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 日本証券代行株式会社 代理人部
 電話 0120-707-843(フリーダイヤル)
 100株

単元株式数 各種手続のお申出先
 未払い配当金のお支払い 株主名簿管理人にお申出ください。
 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等 証券保管振替機構(ほふり)をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
 証券保管振替機構(ほふり)をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでも受付いたしております。ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/request/index.html> (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

公告方法 電子公告により行います。但し、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。(公告掲載URL) <https://www.bulldog.co.jp/>

ブルドッグソース株式会社

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町11-5
 TEL.03-3668-6811(代表) FAX.03-3666-5943 <https://www.bulldog.co.jp/>

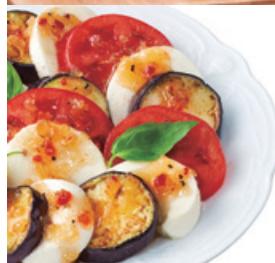


Bull-Dog

& Bull-Dog

2021年度
 事業のご報告
 (中間)

2021.4.1 ▶ 2021.9.30



ブルドッグソース株式会社

●ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、平素より格別なご高配、ご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。ここに2021年度第2四半期連結累計期間の事業概況についてご報告申し上げます。

ブルドックソース株式会社
代表取締役 社長執行役員
イカリソース株式会社
代表取締役社長

石井 幸俊

Q：第2四半期の業績についてお聞かせください

A：当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、ワクチン接種の普及により明るい兆しはあるものの経済活動は依然として抑制され、行政からの自粛要請、外食市場の休業・営業時間短縮要請もあり、先行きが不透明な状況が続いておりました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における売上高は66億8千6百万円となりました。カテゴリー別売上高では、ソース類（ウスター・中濃・とんかつ・専用他）は40億7千万円、ドレッシング類・たれ・ケチャップは9億8千4百万円、業務用商品は16億3千2百万円となりました。営業利益は、業務の生産性向上による経費削減等に努めてまいりましたが、マーケティング費用の増加等により前年同期比37.1%減の3億2千3百万円、経常利益は前年同期比11.2%減の6億5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比11.7%減の4億2千万円となりました。

当社グループは、第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高については、従来の計上方法と比較して、20億9千8百万円減少しております。

Q：第2四半期までの主な取り組みについてお聞かせください

A：第10次中期経営計画の基本方針のひとつとして掲げております生産体制の再構築に関しましては、当社グループの生産効率の向上、省力化、環境負荷の低減を図ること及び安全で安定した生産体制の構築を目的とした「当社グループの生産体制再構築に関する基本実施設計」を2021年9月取締役会にて承認いたしました。現在はブルドックソース株式会社の鳩ヶ谷工場

と館林工場、子会社であるイカリソース株式会社の西宮工場の3工場体制で操業しておりますが、生産体制再構築により2023年12月を目途に館林工場と西宮工場の2工場体制とし、生産の効率化、省力化を実現してまいります。また、社会的課題への取り組みでもある、SDGs（持続可能な開発目標）の目標のひとつ「持続可能な消費と生産」の対応といたしまして2021年12月より、一部家庭用商品において賞味期限表示を「年月日」から「年月」に変更し食品ロスの削減とともに物流・オペレーションの効率化にも取り組んでいきます。



家庭用商品は、新型コロナウイルス感染症による昨年の内需需要急増の反動でソース類は前年同期と比較して低調に推移しましたが、ソースを使用した新たなレシピの認知拡大に向け他社調味料メーカーとのコラボレーション企画、商品パッケージからのホームページへの誘導等を実施しております。また、青果店とのコラボレーションによるドレッシング取扱、消費者の簡便ニーズへの対応として、月島もんじゃ焼材料セットの拡販、子会社であるサンフーズ株式会社のミツワお好みソースを使用した「広島お好み焼材料セット」をブルドックソース株式会社が発売し、グループのシナジー強化も実施してまいりました（「新商品情報」もご参照）。

業務用商品においては、業務用市場のシェア拡大に向けデリカ・テイクアウト向けメニューの積極的な提案を実施し、多数の新規顧客を獲得いたしました。また、海外における外食市場の新型コロナウイルス感染状況からの業績回復に伴い、とんかつソースの輸出が回復基調である等の要因により、売上高は好調に推移いたしました。

Q：株主の皆様へ向けてメッセージをお願いします

A：まずは、2021年4月～9月の間における新型コロナウイルスの感染急拡大を伴う厳しい環境の中、当社の事業活動にご理解とご支援を賜っておりますことに対し、深く感謝申し上げます。ワクチン接種率の増加等による明るい兆しはあるものの新型コロナウイルスに関する状況は依然予断を許さない状況であり、引き続き株主の皆様のご健康と安全を心よりお祈り申し上げます。

当社グループは2022年の創業120周年を機に新たなステージに向けグループを磨き上げるため、第10次中期経営計画「B-UP120」（2020年度～2022年度）を策定し、グループカ・社員力の最大化を目標に、以下の3つの基本方針を定め、取り組んでおります。

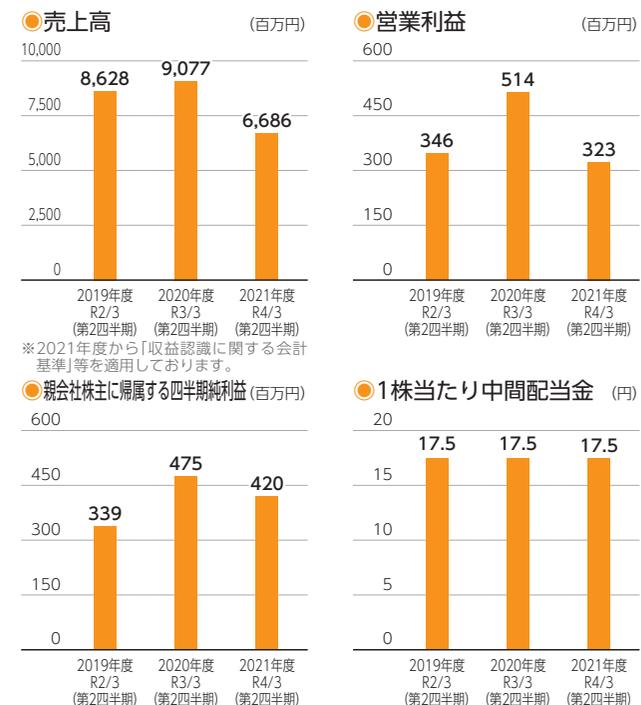
- ①資本・財務戦略Brush UP（資金循環の活性化）
- ②生産体制Brush UP（生産性向上に向けた大型投資）
- ③マーケティングBrush UP（未開拓・手薄領域へのチャレンジ）

2021年度第2四半期までの間においては、前出の「当社グループの生産体制再構築に関する基本実施設計」の取締役会承認（生産体制Brush UP）や他社調味料メーカーとのコラボレーション企画といったマーケティング面での活動（マーケティング Brush UP）に加え、

事業の安定継続、生産性向上のためにグループ従業員並びに協力会社を対象としたPCR検査の実施、本社における顔認証入館システムの導入、生産現場エントランスの非接触型自動ドアへの変更や社内ネットワーク安定稼働のためのデジタル技術導入などを実施するとともに、リモートワーク、時差出勤を一層促進させ、働き方改革を推進してまいりました。また「シニア社員制度」を導入し、70歳まで就業機会を確保することで、若年層とシニア層の双方の力を合わせ、お客様に安全・安心な商品やサービスを安定的にお届けする体制も構築してまいりました。

当社グループは「幸福感を味わえる商品の提供」を経営理念とし、お客様やそのご家族が毎日元気に暮らすために、品質を第一に「安全・安心・信頼」できる企業、新しい価値を創出しほっとするおいしさと今までにない楽しさを提供する企業をめざし、これからも更なる経営基盤の強化に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト



▼ 財務に関する詳細な情報は
<https://www.bulldog.co.jp/company/earnings.html>